

親睦活動

南科管理局7周年記念祭及び親睦活動

「有銭、没銭、娶個老婆好過年(お金があってもお金がなくても女房娶れば良い年を迎えられる)」とはよく言ったもので、結婚はやはり人生の一大イベントです。南科では1月16日の管理局7周年記念祭のイベントの一つとして第6回集団結婚式を行いました。2010年に参加した25組を入れるとこれまでに182組のカップルが誕生しています。「七喜南科、栄耀再現」をテーマとした今回の7周年記念祭では、「七喜祈福、深根南科」と題した記念式典が企画され、豪華賞品を揃えた福引きや園遊会が賑やかに催されたほか、イベント会場には自由に遊べる大型のエア遊具が設置されました。また、実力派歌手・林暁培のライブはアンコールの嵐となり、会場の雰囲気盛り上げました。

親子でハッスル・スポーツで儲ける —2010童年万歳楽活家庭

子供の笑顔は両親の最大の誇りです。南科の健康生活館では10月9日、この小さな太陽たちを主役とした「2010童年万歳楽活家庭活動」が行われて子供から大人まで500人あまりが参加、8チームに分かれて4つの競技で競い合いました。そして、最も盛り上がったのが「親子で関門突破」ゲームで、親子の連携プレーが試されただけでなく、親子の絆も深まりました。

南科很OPEN・仲夏戲劇節—OPEN將歡樂嘉年華

社区センターが8月1日に開催した「南科很OPEN・仲夏戲劇節—OPEN將歡樂嘉年華」を覚えていますか。大人気の「OPEN家族」が登場すると子供たちは大はしゃぎで、会場は一気に熱気に包まれました。参加したお父さん、お母さんは創意を凝らして一家でオープンちゃんに変装し、イベントは大いに盛り上がりました。一年一度のフェスティバルは、今年もまた南科人の笑顔を呼ぶことができました。



▼「童年万歳楽活家庭活動」親子競技に興じる参加者たち(2010.10.9)



▼「OPEN將歡樂嘉年華」オープンちゃんと子供たち(2010.8.1)

「月来月有趣」・2010社区中秋烧肉パーティー

毎年、中秋節は月が丸くなり人の輪も丸くなる日です。神様は今年、私たちの願いを聞き入れて、2日前まで南部が台風「ファナピ」の猛威に曝されていたのが信じられないぐらいの焼肉日和をプレゼントしてくれました。みんなが首を長くして待っていた9月21日に行われる焼肉パーティーでは参加者全員がすっかり意気投合して大いに盛り上がり、夜9時の解散後も余韻に浸ってなかなか帰れない人もいました。このように、南科社区センターは園区の仲間たちの心を集めて温かい大家族を作り上げているのです。

笑い声たくさん・楽しかったハロウィンパーティー

あちこちで楽しそうな笑い声が沸き起こった今年のハロウィンパーティー、社区センター・麥迪兒(My Dear)教育館の子供たちの工夫を凝らした仮装がこの西洋行事を盛り上げました。10月29日にはさっそくやんちゃ坊主たちが「お菓子をくれなきゃ悪戯するぞ」とやって来て、南科管理局は早くもハロウィン気分に含まれました。その晩の「ちびっ子仮装コンテスト」はさらに盛り上がりました。わが子の晴れ舞台のためにお父さんもお母さんも大張り切りで準備をしましたが、中でも「アイアンマン」はお父さんが一ヶ月もかけて手作りしたものだそうです。このほか「お化け屋敷体験」など社区センターが企画したハロウィンの様々なイベントに参加者みんなが大はしゃぎでした。

自転車楽園・樂在騎中

12月4日に健康生活館が主催した「2010自転車楽園・樂在騎中」イベントでは、700人近く自転車ファンが集まり、とてにぎやかでした。台南園区の主要スポットを回る全長14キロのコースを走りました。園区の水辺の景色を楽しみながら体も動かすことができると、大好評でした。



▼「南科ファミリーデー」的一幕PUB天后の黄小琥による熱のこもったステージ(2010.9.11)



▼「月来月有趣」中秋の焼肉パーティーで盛り上がる(2010.9.21)



▼「ハッピーハロウィンパーティー」で子供たちの工夫を凝らした仮装が審査員と来場者に大好評(2010.10.29)



▼「自転車楽園」自転車で南科巡り(2010.12.4)



健康OPEN！南科ファミリーデー

9月11日の迎曦湖畔広場、湖一周サイクリング・ウォーキングで幕を開けた「2010年南科ファミリーデー」。沿道ではストリートパフォーマンスなども行われ、子供やペットを連れた大勢の人で賑わいました。会場を訪れた人の数は6000人を超えたものと推定されています。夜の広場はさらなる熱気に包まれ、PUB天后(トップスター)の黄小琥が登場して懐かしのメロディーを披露すると、割れるような喝采に会場が沸きました。そして、最後のジャンボくじでは、ずらり並んだ豪華賞品に会場の興奮はピークに達しました。



▼「南科ファミリーデー」ストリートパフォーマーがサクスを演奏(2010.9.11)



▼「太陽エネルギー親子チャレンジキャンプ」モデル・カーのアゴロ組み立ての様子(2010.11.20)



▼「太陽エネルギー親子チャレンジキャンプ」エコアイデアコンテストの様子(2010.11.20)

太陽エネルギー水陸両用親子チャレンジキャンプ

クリーンエネルギーは近年の注目株であり、今後の時代の流れでもあります。こうした観念を国の将来を背負って立つ若い芽に育ててもらうため、11月20日に南科管理局、茂迪文教基金会、高雄応用科技大学、教育部太陽エネルギー学校、南科産学協会などが台南県・市、高雄県・市、屏東県・市の小学3年生から中学2年生までの子供と父母を対象として「太陽エネルギー水陸両用親子チャレンジキャンプ」を共催し、350組の参加者がありました。そして、小さい頃から省エネ・CO₂削減の観念を持ってもらおうと、親子一緒にモデル・カー製作や省エネ・CO₂削減関門突破ゲーム、省エネ商品展示や科学教育ビデオ上映などが行われました。

南科環境教育推進探索キャンプ

広大な敷地面積を有する南科は一見の価値ある自然生態も多く残されており、南科管理局はこれらを生かして9月21日と28日に「南科環境教育推進探索キャンプ」と題した環境教育プログラムを企画、南科国際実験高等学校の小学部が先生と一緒に参加しました。2期にわたって行われたキャンプでは、教室で学んだことを実際の生活の中で生かせること、子供たちがみんな「大冒険家」になれることを目的として野外自然観察や科学実験のほか、様々なコンテストなども行われました。



▼日系企業駐在員の一行が苗栗三義の鴨箱賣の展示を見学(2010.4.25)



▼鹿谷茶葉文化館でお茶の入れ方について説明を受ける外国人駐在員たち(2010.10.30)



▼生活保護センターの子供たちがバスケットボールゲームに挑戦(2010.8.13)

外国人駐在員向け台湾生活体験イベント

投資環境の良さやフレンドリーな雰囲気によって国際的な有名メーカーが何社も進出している南科は、肌の色や言葉の違う様々な国の人々が行き交い、さながら世界の縮図のようです。この遠来のお客さまにリラックスした一時を過ごしてもらうため、南科管理局では春と秋に在地生活体験イベントを企画しており、参加者はこの一味違った生活体験を通じて台湾の美しさを発見することができます。

春の台湾「四月雪」と鴨箱賣DIY体験の旅

園区内の日系企業の日本の皆さまのリクエストにお応えし、4月25日、桐の花が満開の苗栗県三義で「四月雪(白い桐の花を雪に見立ててこの名がある)」散策と木彫街訪問の旅を企画しました。美しい木彫工芸の鑑賞や木彫りの鴨の絵付け体験、そして日本の桜風情とはまた異なる台湾の春を満喫し、日本の皆さまの台湾文化への理解と日台の絆が一段と深まった旅でした。

秋の台湾中部生活体験ツアー

10月30日に催された外国人駐在員のための台湾生活体験交流イベントは、日本人の皆さまのほか、他国出身の参加者も迎えて行われる初めての企画となりました。まず訪れたのは921大震災のあと再建された鹿谷の内湖小学校です。内湖小学校は自然生態教育の推進を理念としており、その建設に当たっては元の自然環境を生かすよう配慮しただけでなく、なるべく周囲の景観にも馴染み、自然環境自体が一つの大教室となるよう工夫しています。次に訪れたのは豊かな生態と自然が残され、不思議な伝説も数々伝わる溪頭自然教育園區です。専門ガイドさんの解説を聞くと溪頭はさらに神秘的な色彩を帯びて見え、思わず畏敬の念を抱かざるをえませんでした。最後に訪問した鹿谷茶葉文化館では、お茶の史蹟を見学したりお茶の入れ方の説明を受けたりして、名高い鹿谷郷の凍頂烏龍茶に対する理解を深めることができました。収穫の多い台湾中部の旅でした。

台南県生活保護センターを南科見学に招待

恵まれない子供たちの向上心を育もうと、南科管理局は生活保護センターの佳里服務所が支援している子供たちを8月13日に園区の見学に招待しました。これは社会福祉団体を招待した初めてのケースで、南科に進出しているパイオ会社の港香蘭や国家ナノ・デバイス実験室(NDL)などの熱心な協力を得ることができました。未来に向けた産業の脈動に実際に触れることで、ふだん新しい物事に接触する機会の少ない子供たちの中に学びたいという心が芽生え、彼らが将来への希望を見出せるようになることを願っています。